



# The Supporters Times



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート



本会議にて、議案の説明に登壇

## 改革なくして成長なし、 財源なくして政策なし 責任政党として、実効性ある 成長戦略で景気回復を！

いよいよ今月は参院選です。民主党は、国民の生活が第一、と言っていたのに、まるで選挙が第一と言わんばかりに国会での論戦を一方的に回避し、強引に国会を閉会しました。鳩山総理の退陣で、一週間以上も国会が空転した揚句、新総理が予算委員会での質疑に応じないのは初めてです。

新政権は、公共事業中心の「第一の道」でも、構造改革による生産性重視の「第二の道」でもなく、強い経済に導く「第三の道」を目指すと言っています。温暖化対策を軸とした環境やエネルギー、子育てを含む健康・医療・介護、アジア経済と観光・地域活性化を加えた成長4分野で、計123兆円の需要と500万人の雇用を創出し、名目3%の成長を実現するという目標を示しました。

しかし、その具体的な手立ては全く示されておらず、政策実行を担保する財源の裏付けもありません。本当に国民

に耳触りの良いことしか言わない国民迎合政党です。

連立与党は社民党の政権離脱によって、衆議院では3分の2の勢力を失いました。つまり、もし法案が参議院で否決になれば、衆議院では「再可決」できずに立往生するということです。したがって、この参院選で与党を過半数割れに追い込むことができれば、与党は法案について、野党との「修正協議」に応じざるを得なくなり、私たちの政策が反映されることとなります。

民主党政権の無責任で、借金のツケを先送りする「理念なきバラマキ政策」の暴走に、しっかりと歯止めをかけねばなりません。

「改革なくして成長なし、財源なくして政策なし」。自民党は、真の改革政党として、経済を成長させて雇用を創り、生活を底上げすることで、誇りと自信に満ちた国づくりを目指します。金融政策、税・財政政策など具体的な成長戦略を明示し、早期のデフレ脱却と景気回復を図り、名目4%の経済成長を公約として打ち出しました。法人税の思い切った引き下げや生産性向上のためのイノベーションに力を傾注することで仕事を創り、誰もが働く場を得られる社会を実現します。

今の日本に必要なのは、国民に対する甘い言葉やその場しのぎの政策ではなく、頑張った人が報われる、将来を見据えた責任ある政策です。秋葉賢也は若手改革派のリーダーとして、その先頭に立って走り続けます。

自民党の参院選マニフェストの詳細は、[www.jimin.jp](http://www.jimin.jp)。

## Think Globally, Act Locally!

# 終盤国会レポート 激動の1ヶ月！

普天間問題に端を発した、社民党の連立離脱、さらには鳩山首相の辞任と、5月末からの政治はまさに雨・嵐でした。総理の辞任にかき消されてしまいましたが、終盤国会での政府民主党の横暴は、あまりにひどいものでした。

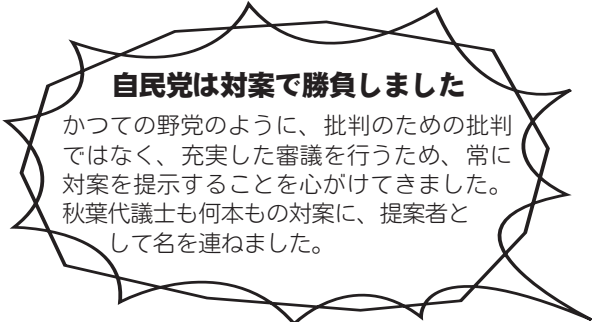
秋葉代議士の所属する総務委員会での審議を中心に、報告します！

## 放送法改正案

### 「なぜ修正案を審議しない!？」

報道の自由を侵害する危険がある、と先月号でも問題を指摘した「放送法改正案」。さすがに与党も運用に危険があると感じたのか、修正案を提出してきました。

本来であれば、与党修正案も含めた質疑が行われるはず。しかし、60年ぶりの大改正にもかかわらず、自民党が要求した20時間の審議のわずか半分の10時間で、修正案に対する質疑も不十分なまま、その日のうちに強行採決されてしまいました！



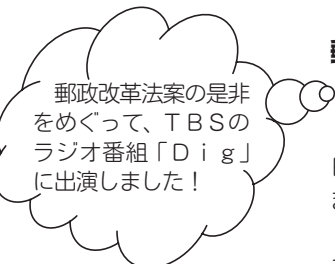
### 自民党は対案で勝負しました

かつての野党のように、批判のための批判ではなく、充実した審議を行うため、常に対案を提示することを心がけてきました。秋葉代議士も何本もの対案に、提案者として名を連ねました。

## 総務委員長解任決議案

### 趣旨弁明のため、本会議に登壇！

政権交代直後から、総務委員長の職権濫用が続いていましたが、あまりにも度が過ぎます。公正・公平な委員会運営を求めて、総務委員長解任決議案を提出しました。秋葉代議士は党の代表として、本会議での趣旨弁明に登壇しました。



郵政改革法案の是非をめぐって、TBSのラジオ番組「Dig」に出演しました！

## 総理辞任

### あまりに無責任！

鳩山首相の突然の辞意表明で、国会は開店休業状態に。国民の皆様が心待ちにしていた法案や、請願の審議がストップしてしまいました。終始選挙のことしか頭にない与党の姿は、残念な限りです。そして…

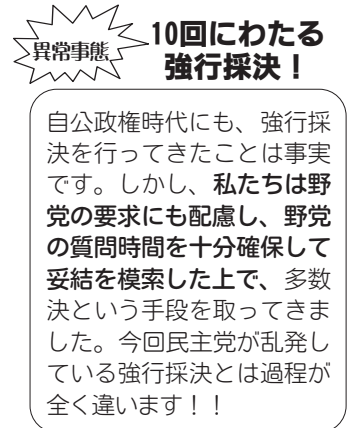
## 郵政改革、120時間→6時間！

### 委員長の耳には「馬耳東風」

総務委員長解任決議案が本会議で否決された翌日、総務委員会では郵政改革法案の審議が行われました。

民営化の時には、合計で120時間の審議が行われました。今回政府が提出した法案では、民業圧迫は必至。道半ばの郵政改革の功罪を総括することもなく、政権維持のために改革を逆行させるようなことは、断じてあってはなりません。

それにもかかわらず、郵政改革法案はたった1日、6時間の審議のみで、委員長の職権により採決されてしまいました。公正な委員会運営への願いも委員長の良心には届かなかったようです。



異常事態

### 10回にわたる強行採決！

自公政権時代にも、強行採決を行ってきたことは事実です。しかし、私たちは野党の要求にも配慮し、野党の質問時間を十分確保して妥結を模索した上で、多数決という手段を取ってきました。今回民主党が乱発している強行採決とは過程が全く違います！！

内閣不信任決議案を提出するも、あえなく否決。会期延長なく、閉会へ。

郵政改革法案を始めとして、強行採決された法案の多くは、閉会に伴い、審議未了廃案となりました。臨時国会以降、再度審議することになるとは思います。党利党略にとらわれることなく、衆参両院で十分に審議することを、与党に対して強く望みます。



# 新たに提出した質問主意書

質問主意書とは国政一般について、内閣に文書で質問することができる議員の権利です。内閣は原則1週間で回答しなくてはなりません。

6月は以下の5本の質問主意書を提出しました！

- ① 水道管の耐震化に関する質問主意書
- ② 独立行政法人の保有資産等に関する質問主意書
- ③ 社会保険制度に関する質問主意書
- ④ 予防接種に関する質問主意書
- ⑤ 緑化事業の推進に関する質問主意書



質問主意書は国会の会期中しか提出できないため、これからしばらくはお休みです。ここでは、今月提出したものの中から、3点をピックアップしてお伝えします！

## 水道管の耐震化

厚生労働省の調査によると、震度6の地震に耐えられる水道管は、宮城県ではわずか30%しかないそうです。災害時の重要なライフラインである水道管、二次災害を防ぐためにも、整備が急務です。

見解と、今後の整備方針、水道管以外のライフラインの耐震化状況を問いました。

答弁は、「調査してまいりたい」がほとんど。ライフラインの整備が進む一方で、その後のメンテナンスがおろそかになっていた実情が明らかになりました。厚生労働省は今後調査を進めて対策を講じるとしているので、一定期間後に再度質問したいと思います。



## 予防接種

日本では、小児向けの接種が中心で、高齢化が進んでいるにもかかわらず、高齢者向けの接種は定期接種の対象外なのです。また、公費助成も限定的で、地方財政を圧迫しています。そこで、

- ① 予防接種の勧奨対象を、成人にも拡大すべき
  - ② 任意接種にも公費助成を認めるべき
- と提言しました。

政府の答弁は「検討してまいりたい」に終始しており、今後どのように検討されるのか、目を光らせて行かなくてはならないと感じました。

## 緑化事業

二酸化炭素排出量の大幅な削減目標を打ち出した、鳩山前首相。しかしその政策は、各種のエコポイントなど麻生政権から引き継いだものばかりです。そこで、以前の「緑化版エコポイント」に引き続き、

- ① 道路の中央分離帯と路肩の緑化
  - ② 学校校庭の芝生化
- を提案しました。

政府として緑化事業は行っているようですが、例えば校庭が芝生化されている小学校の割合は5%未満、など、一層の努力が必要だということが明らかになりました。「緑化は重要だと考える」「支援してまいりたい」という前向きな答弁を得ることができたので、今後の政府の取り組みを注視していきます！

## 拡大の一途、口蹄疫 一刻も早い対策を！

4月に発生した口蹄疫被害は初動の遅れが尾を引き、現在も感染拡大が止まりません。愛情を込めて育てた牛や豚を殺処分にしなくてはならない畜産業者の方の心情を思うと、やりきれない気持ちです。

被害の拡大防止には、迅速な対応が何より重要です。自民党は、赤松農水大臣（当時）より早く現地入りしました。そして「口蹄疫対策緊急措置法案」を提出、公明党と共に民主党に呼びかけて、議員立法として5月28日に口蹄疫対策特別措置法を成立させました。

- 同法は、
- ① 口蹄疫の蔓延を防止するための措置
  - ② 口蹄疫に対処するために要する費用の国による負担等について、特別措置を定めたものです。平成24年3月31日まで2年間の時限立法として、公布日（6月4日）から即日施行されました。

迅速かつきめ細やかな立法で、国民生活の安心・安全を守ってまいります！

## あれから1年…

衆議院の解散から、まもなく1年が経ちます。この間、皆様からいただいた厳しい評価を受け止め、「悪しきを改め、良きを伸ばす」の精神で、党改革、政治改革に取り組んでまいりました。皆様の目には、どのように映っているのでしょうか。

参議院選を経て、国会は新たなステージに入りました。「慣れていない」「知らなかった」はもう通用しません。健全な国会を取り戻すべく、次の国会も精一杯取り組んでまいります！

# アフリカって、こんなところ！

サッカーワールドカップ南アフリカ大会、盛り上がりましたね！日本も大健闘でした。

ところで、皆さんはアフリカについてどのくらいご存知ですか？

☆国の数～53カ国（国連加盟国の約28%）

☆人口～約9億8700万人（世界の7人に1人がアフリカの人）

☆経済成長率～5.3%（1999～2008、同期間の先進経済国34カ国・地域の成長率は約2%）

☆世界遺産の数～116カ所（ビクトリアの滝、サバンナなど）

☆未だに残る貧困問題

～サハラ以南アフリカでは、2人に1人が1日1ドル未満で生活

秋葉代議士とアフリカの関わりといえば、マダガスカルです。2006年にはマダガスカルを始め、アフリカ7カ国を訪問し、2008年のアフリカ開発会議の際には、当時のラヴァルマナナ・マダガスカル大統領を仙台に招待しました。



同会議で、日本は2012年までの対アフリカODAや民間投資の倍増を発表！紛争や貧困など多くの問題を抱えるアフリカに対し、国際社会を牽引しながら、インフラ整備から教育や保健衛生など多岐にわたって支援しています！

## 国会事務所、新議員会館へ移転します！

来る7月17日から順次、新議員会館への引っ越し作業が始まります！

これまで使ってきた議員会館は、1963年に竣工しました。時の首相は池田勇人、ちょうど東京オリンピックが開催されたころのことです。

新しい議員会館は、地上12階、地下4階で、事務室の広さもほぼ倍になります。

8月にはすべての引っ越し作業が終了し、新議員会館の運用が始まる見込みです。皆様、是非足を運んでみてくださいね！

なお、引っ越しに伴い、秋葉賢也事務所は第一議員会館の**823号室**に移転します。

ご注意ください。（住所、電話番号に変更はございません）



### — 実践します！ —

- ①クリーンな政治（財力に頼らない選挙を実践します）
- ②わかりやすい政治（日常的街頭活動や報告会を通じて、政治を身近なものにします）
- ③フットワークの政治（現地現場の声を、何よりも大切にします）

— 県議に初当選する前から掲げている政治姿勢で、今も終始貫いています —

### ～ kenya's PLOFILE ～



- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、47才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒塾（第9期生 宮城県初）を経て、宮城県議会議員（三期）を務める。
- 総務大臣政務官や自由民主党副幹事長などを経て、現在、衆議院議員三期目。
- 決算行政監視委員会理事、総務委員会委員、災害対策特別委員会委員、党厚生労働部会長代理、新聞出版局次長、情報調査局次長を務める。
- 著書：「地方議会における議員立法」（文芸社）、「東北の夢創造」（ぎょうせい）。
- 趣味：野球、空手などスポーツ、音楽、映画。

### 秋葉賢也事務所

仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477

Fax 022(375)0057

購読料 年額6,000円  
編集 朝アクトジャパン

## 国政報告会のお知らせ

波瀾万丈だった第174回通常国会。秋葉代議士が総括を報告致します！皆様お誘い合わせの上、是非ともご参加ください！

### 宮城野区

日時 7月14日(水) 19時～

場所 青葉区中央市民センター（第2会議室）

### 泉区

日時 7月15日(木) 19時～

場所 南中山市民センター（第1会議室）

### 若林区

日時 7月16日(金) 19時～

場所 古城コミュニティセンター

秋の臨時国会に向けて、皆様からの忌憚ないご意見をお待ちしています。

報告会の詳細等は仙台事務所（022-375-4477）までお問い合わせください。

## もっと投票しやすく！ いろいろな選挙制度

近年、投票率の低下が問題となっています。昨年の総選挙も、大きな注目を浴びていたにもかかわらず、投票率は約7割でした。国の進路を決める、大切な選挙。投票率を上げるため、様々な制度が導入されています。

1. 期日前投票制度
2. 不在者投票制度（郵便投票制度、洋上投票など）
3. 在外選挙制度

これらを積極的に活用して、みんなで日本の将来を考えていきましょう！